

飽水管理の徹底で、稲体活力維持！！ 高温登熟に備え、葉色淡い場合は追加穂肥を！！

1 生育状況

(1) コシヒカリの分施肥体系では葉色の回復が見られるが、基肥一発施肥では依然淡い状態となっている（ほ場間差あり）。

(2) 葉色調査結果

品種		7/30		7/25
		SPAD 値	指標差	SPAD 値
コシヒカリ	分施(調査点数 23)	32.8	- 0.2	31.8
	一発(調査点数 22)	32.2	- 0.8	32.2
新之助	(調査点数 3)	32.2	- 1.8	30.0

2 今後の天気（7月27日～8月26日：新潟地方气象台7月25日発表）

期間の前半は平年と比べ晴れの日が多い予想
気温：平年比 高い 降水量：平年比 少ない 日照時間：平年比 多い

3 今後の栽培管理

(1) 水管理

- ア 「飽水管理」を徹底し(出穂期 25 日後まで)、後期栄養を維持する。
- イ 強風やフェーンが予想される場合はあらかじめ湛水し、障害の発生防止に努める。

(2) 「コシヒカリ」の穂肥対応

分施肥体系と基肥一発施肥いずれの場合も、出穂期の葉色が SPAD 値 32～33 を下回ると予想される場合、出穂期 3 日前までに窒素成分で 1 kg/10a をめやすに追肥する。

ただし、有機質入り肥料を使用する場合は早めに施用する。

(3) 「新之助」の穂肥対応(新之助研究会の方へ)

- ア 分施肥体系では、2 回目穂肥を確実に施用する（窒素成分で 1 ～1.5kg/10a）。
- イ 出穂期の葉色が SPAD 値 34～36 を下回ると予想される場合、追肥を検討する。
具体的な対応については研究会へ相談する。

(4) 斑点米カメムシ対策

カメムシ類が多発生している地域が散見される。雑草が結実しない間隔で農道や畦畔の草刈りを行うとともに、適期に薬剤防除を実施し、斑点米発生防止に努める。

～ 暑い日が続きます。熱中症対策は万全にしましょう！ ～